
賛

一宮 集

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

贄

【Nコード】

N5337H

【作者名】

一宮 集

【あらすじ】

赤の種族と白の種族。搾取する側とされる側。相容れない二つの世界の間、禁忌を犯した者の末路は――

短い夏の終わり。わたしは多くの骨を屠りに行く。いつものように流れのゆるやかな、浅い川の中へ。

ナダが言う。悲しみを表に出すのは愚か者の仕業だと。そんなことは言われなくても判っている。

何の感傷も感慨もない。これは弔いですらない。単なる仕事に過ぎない。

ケリの死を、昨日知らされた。彼は一昨日、丘の上に引き出されたのだ。何人もがそれを見ている。

足元には枯れたザビアの枝が鬱陶しく纏わる。そうして軽やかに彼を誘ったのかもしれない。

どうして彼がそれを選んだのか。どうして秘密を口にしたのか。

わたしにはケリの心が判らない。そしてそれは、もうこの村の何処にもない。

バケツは妙に重たい。今日が当番で良かったとわたしは思う。少なくとも、手順を間違ったりはしないから。

肉を撒けば鳥が集まる。骨を撒けば魚が飛沫をあげる。彼等は何もかも承知の上で、あの年若い男の生身を食む。

父さんも同じように川へ戻された。母さんはまだ生きているけれど、あの人には、丘に上がる甲斐性すらない。

死を選ぶものはまだ幸せだとケリは笑った。その額から滴る赤。

彼の種族の色は赤に決まっていた。
鳥は無心に頬張り、魚は悪意を持たない。彼等は彼等のなすべきことをしているまでだから。

わたしの種族は白。代々そう決められている。だから初めから、彼とは交わりを持つことは出来ない。
それでもあの月の夜、彼はわたしを連れ去りに来た。ただ一夜だけの繋がり。それを拒む術などなかった。

一昨日の丘には沢山の人。多くは白を滴らせる大人ばかり。彼の一族から、選ばれた者だけがそこへ上がる。
きつく結ばれた手首。さらに掌に穴を穿つ。生暖かい獲物と一緒に、縄で繋ぎ合うために。
皿に盛られた料理に、わたしは殆ど手をつけなかった。何かが込み上げる。吐く。彼の爪が、地面に転がった。

骨は、わたしの額と同じ色。流れずに、水の底へ澱んで沈む。深く、深く。やはり流れはしない。
思い付いて、一つ口にする。灰の味しかない。完全なる無機質。
父さんのものと同じ匂いがした。
種族など最初からなかったのではないか。わたしは訝しむ。でなければ、同じ味がする筈がない。
考え過ぎるのがお前の悪い癖だと、ナダはいつもわたしを咎める。
でも。果たしてそうだろうか？
青い水の中に、ケリが溺れていく。わたしは無心に眺める。指先で

そつと触れると、魚の鱗がきらりと光る。

軽くなったバケツをもう一度振ってみる。白い粉が舞うばかりだ。夜の闇にはまだ遠い。鳥が騒ぐ。

血のような夕焼け。ザビアの枝はいつもこの色だ。丘には、選ばれた者しか上がれないから。

誰もがいつも腹を空かせている。けれどわたしはそれを感じない。真っ白な月の夜からずつと。

最後の灰を口にしたせいか、腹は少し重かった。無意識にそれを撫でながら、その中にケリを感じる。

—— いっそ、ナダに言つてやろうか？証拠はわたしの中にあると。

—— いや。よしておこう。何を言ったところで、あの人は聞きもしないだろうから。

わたしの中の彼は言う。誰にも悟られるなど。誰かがいつも、嘘をついているからと。そんなことは判っている。

全てを流し終えたあと、わたしは立ち上がる。怪しまれないように。慎重に帰らなければならない。

軽くなったバケツと、幾分重たい腹を抱えて。真っ赤な空の向こうに、仄青い三日月を眺めながら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5337h/>

賛

2010年11月15日07時36分発行